

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和 7 年度 第 1 回 松川町資料館運営委員会

2 開催日時 令和 7 年 6 月 24 日(火) 16 時 00 分～16 時 55 分

3 開催場所

松川中央公民館えみりあ 会議室

4 出席者氏名

資料館運営委員(7 名出席)

塩沢貴浩委員 星野光洋委員 牧内優幸委員 亀山勝保委員

北原紀子委員 米澤正幸委員 矢澤登委員

事務局

資料館長(教育長) 溝上正弘 教育委員会事務局長 西浦素之

生涯学習係長 高橋直人 生涯学習係 中島裕治 米山梓

5 協議事項

(1) 令和 6 年度 事業報告

(2) 令和 7 年度 事業計画(案)

6 傍聴人の数

なし

7 会議資料の名称

令和 7 年度 松川町資料館運営委員会資料

8 審議の概要

- 1 開会
- 2 館長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 正副委員長選出(議員改選によるもの)
- 5 運営委員長挨拶
- 6 協議事項

(1) 令和6年度事業報告

【説明】資料に基づき事務局より説明

【質疑】

委員 A 特別展の開催に協力いただき良い展示が出来た。資料館にとっても活気が出てきたと思う。引き続きよろしく願いしたい。

委員 B 数字で見るとおり来館者数が増えている。大変ご苦労様でした。企画の中に来館者の意見を取り入れることも大事だと思う。アンケートを取るといいのではないか。

委員 A 自分が展示をした時にはたくさんの意見を貰った。近い会場で展示が出来てありがたいと思う。

事務局 展示ごとに来館者の層も変化があると思う。その都度意見を貰えるよう、いただいた意見を参考にアンケートボックスを設置したい。

委員 C 来館者がとても増えているが年代は調べているか。

事務局 小学生が放課後にたくさん来る。そのほかの来館者については細かい年代までは調べられていない。

委員 D 子どもを迎えに来た親も一緒に巻き込めるといいのではないか。

委員 A そうなれば活気が出ていい。あわせて常設展も見えていってもらえるのでは。

委員 C 展示の企画には町民からのアンケートやリクエストを反映させているのか？

事務局 特別展については町民の方に企画を持ち込んでいただくもの。
企画展については、基本的には事務局で考えているものだが、町民の方の意見を参考にさせていただくこともある。

委員 C 昭和展自分でも懐かしいと感じよかった。ターゲットとなる年齢層を少し下げるとよいような展示もよいのでは。企画展もいろいろな世代の人を巻き込むとよいのではないかな。

事務局 昭和展については内閣府にも昭和 100 年を記念する事業のモデルとして情報を吸い上げていただいた。町の特色あるものとしてこうした展示の広報活動ももっと力を入れていければと思う。また来館者数が増えたことについては、一つ大きな岩が動いたような、きっかけとなる年だったと感じている。特別展等もご協力ありがとうございました。

(2) 令和 7 年度事業計画(案)

【説明】資料に基づき事務局より説明

【質疑】

委員 E 資料には史学会との連携とあるが、その後何か動きがあってこうした計画を入れているのか。

事務局 現時点ではまだ再開の目途はたっていないようだが、度々史学会の事務局へは再開について働きかけを行っている。事務局でもそろそろ再開したいとの思いがあるようだが、高齢化が進んでおりすぐにはいかない様子である。
ただ、いつ再開しても対応できるように事業計画へは盛り込んである。

委員 A 史学会が活動していたころは本当に楽しくいろいろな所へ連れて行ってもらえてよかった。こちらでも協力できることがあればするので、ぜひまた再開させてもらえるとありがたい。

事務局 史学会の事務局を資料館へ移行したいという話もある。協力しながら、若い世代へも史学会へ入ってもらうなど、活性化に努めていきたい。

委員 E 要望だが、松川町は果樹栽培が特色。資料館展示の目玉として果樹の資料をまとめ、収集・保管・展示をしていってほしい。

上片桐には町で一番古い共同防除の小屋が残っているが、この先朽ちてしまわないか心配であったり、一番古い梨の木が枯れてしまったりして、大事なものが消えて行ってしまう。長い目で見て検討してほしい。

委員長 資料館は要望を聞き、検討するように。

7.閉会

以上